

三島駅南口周辺開発 地下水対策検討委員会

第5回委員会

- 広域観光交流拠点整備事業の進捗状況 -

令和元年9月2日(月)

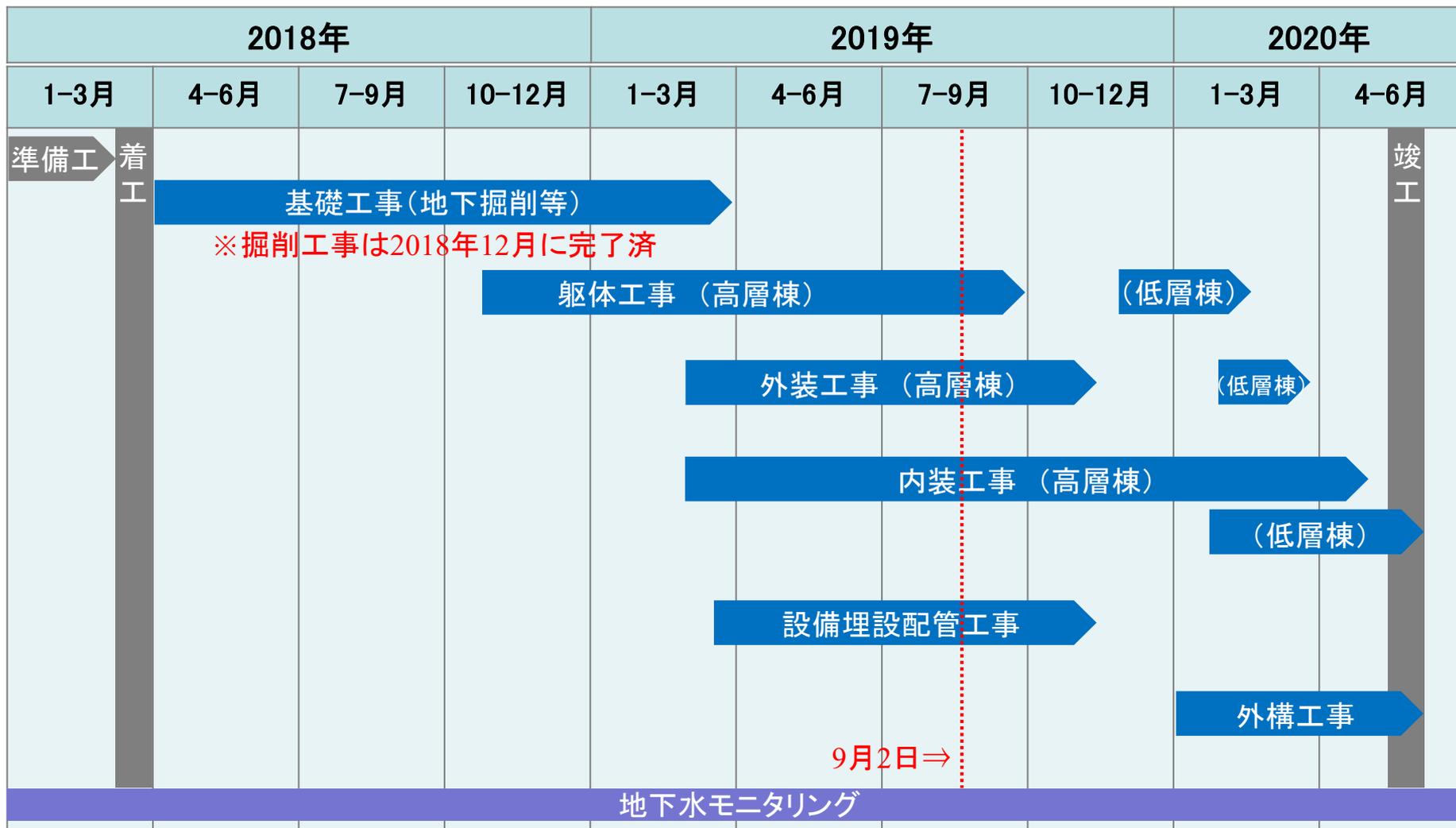
目次

- 1. 工事の進捗状況について ……P2
- 2. 事業者による地下水モニタリング計画案について ……P4

1. 工事の進捗状況について

1. 工事の進捗状況について

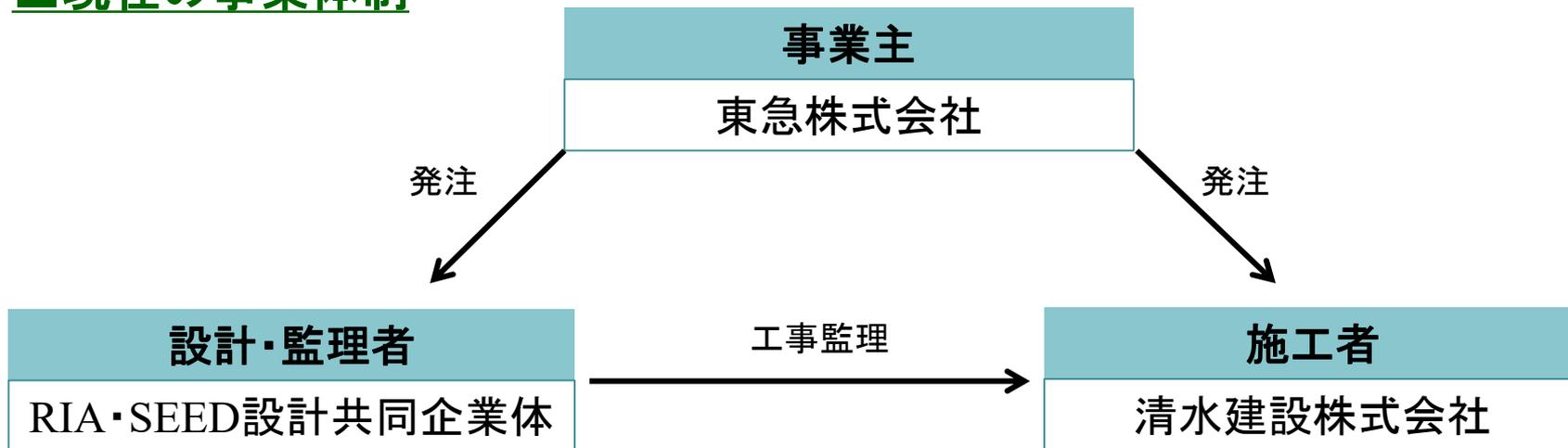
■工事のスケジュール



2. 事業者による 地下水モニタリング計画案について

2. 事業者による地下水モニタリング計画案について

■現在の事業体制



■現在のモニタリング体制



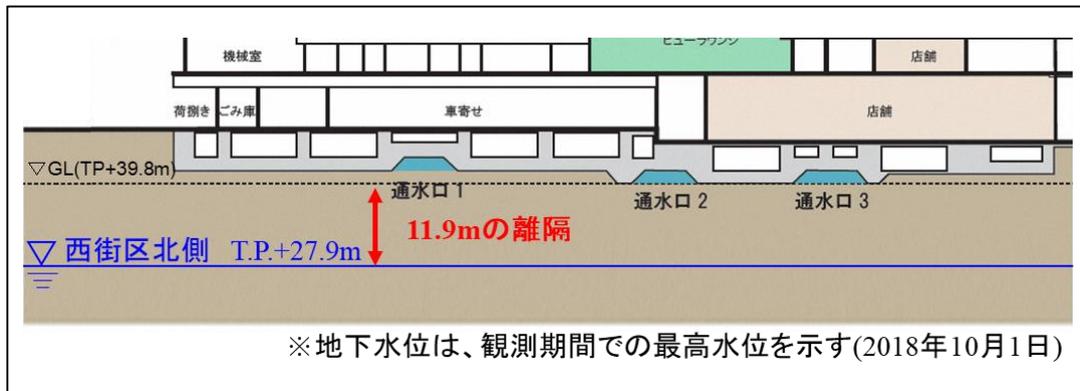
2. 事業者による地下水モニタリング計画案について

- 工事完了後の地下水の状況を整理した後、その結果を踏まえて、地下水モニタリング計画案を検討する。

(1) 工事完了後の地下水の状況

- 工事完了後の地下水と地下構造物の状況は、右図のとおり、地下水位が地下構造物より下位に分布することが確認されている。

⇒地下水への影響はないと考えられる。



図：工事完了後の地下水と地下構造物の状況

(2) 地下水モニタリングの考え方

- 地下水モニタリングは、地下水質と地下水位に分けて整理する。
- 地下水質：
 - 工事が実施されないため、地下水質に対する影響はないと考えられる。
- 地下水位：
 - 万が一、地下水位が上昇した場合、右図のとおり、地下構造物の存在により、地下水流動阻害が発生する可能性がある。

⇒万が一の地下水への影響を確認するため、地下水位の観測を行う。

2. 事業者による地下水モニタリング計画案について

(3) 工事完了後の地下水モニタリング計画(案)

- 工事完了後の地下水モニタリングは、下表のとおり計画する。

表：工事完了後 地下水モニタリング計画(案)

■地下水質の測定

「現在」

- 工事による地下水質への影響を直ちに確認するため、1時間に1回の測定を実施

「工事完了後」

- 工事が実施されないため、工事完了後の地下水質への影響は想定されていない。
- 安心安全のため、月に1回の頻度で地下水質の測定を計画

■地下水位の測定

「現在」

- 工事による地下水位への影響を直ちに確認するため、1時間1回の、測定を実施

「工事完了後」

- 地下水位が万が一上昇した場合、地下構造物の存在による地下水流動阻害が想定される。
- 引き続き、1時間に1回の頻度で地下水位の測定を計画

	現在(工事中)	工事完了後 (2020年6月～)
観測地点	西街区北側、西街区南側 * 次ページを参照	変更なし
測定項目	地下水位 地下水質 →EC、pH、水温、濁度	変更なし
測定手法	地下水位 →触針式水位計による手ばかり測定 →自記水位計による自動測定 地下水質 →自動計測機による自動計測	地下水位 変更なし 地下水質 →ポータブル計による現地計測
測定頻度	地下水位 →手ばかり測定：月に1回 →自動測定：1時間に1回 地下水質 →自動測定：1時間に1回	地下水位 変更なし 地下水質 現地計測：月に1回
調査主体	東急株式会社	東急株式会社

2. 事業者による地下水モニタリング計画案について

■地下水モニタリング位置

- 工事完了後の地下水モニタリング位置を、右図に示す。
- 西街区(東街区)を取り囲むような位置で、地下水モニタリングを実施する。



図:地下水モニタリング位置

2. 事業者による地下水モニタリング計画案について

■地下水モニタリングスケジュール

